

鏡に良い姿が映るように

副校長 武内 伸輔

新年度になり、1か月がたちました。本日まで新型コロナウイルス感染症等も落ち着き、児童の欠席者も少なく、穏やかに過ごすことができています。先週は、どの学年の遠足も天候に恵まれ、無事に行うことができ、どの子も満足な顔で帰ってきました。



1・2年 世田谷公園



3・4年 フィールドアスレチック横浜つくし野コース



5・6年 鎌倉 源氏山

私が担任をしていた時、同僚の先生から「先生のクラスのAさんが友達にグループ遊びのやり方の説明をしていました。その時の話し方や、説明の仕方が先生にそっくりで、ものまねをしているのかと思いました。」と言われました。

その後、私がAさんに「今日の説明の時、私の真似をしたんだって。」と尋ねると不思議そうな顔をして「何のこと？」と返されました。同僚の先生から聞いた話をすると、Aさん本人は全くの無意識に話していたそうです。

このやり取りの中で「もし、私がいい加減な話し方をしていたらAさんは同じような話し方を無意識でしていたのか。」と「ドキッ」としたことを思い出します。

大人が普段、何気なく行っていることを子供たちは同じ場面で、同じことをするので「子供は大人の姿を映す鏡」ということとして気付かされます。

教職員が手本となり、その姿が鏡である子供たちに映り、人権尊重の精神や、あいさつが自然とできるような子供になるように取り組んでまいります。

コロナ禍での2年間で行ってきた様々な取組を踏まえつつ、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら「新たな学び」ができるようにしていきます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。